

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

令和8年度入学者選抜
日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科
看護学専攻(修士課程)一般入学試験(I期)問題

専門科目(90分)
(母性看護学)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め4枚(3ページ)です。解答用紙は3枚(3ページ)です。
3. 下書き用紙は1枚あります。必要に応じて利用してください。
4. 試験監督者の指示に従って、問題用紙には受験番号を、解答用紙には受験番号および志望領域を記入してください。
5. 解答には、黒色鉛筆(シャープペンシルも可)を使用し、解答はすべて解答用紙に横書きで記入してください。
6. 問題用紙や解答用紙に落丁・乱丁および汚れ等がある場合は、試験監督者に申し出てください。
7. 問題用紙、解答用紙とも試験終了後、回収しますので持ち帰ってはいけません。
8. 下書き用紙は、持ち帰ってください。
9. 試験中に質問等がある場合は、手を挙げ試験監督者に知らせてください。

問1. 母性看護の対象を取り巻く環境に関する以下の文章について、括弧内に入る適切な語句・数字を記入しなさい。

- 1) 15歳から49歳までの1人の女性が、生涯に産む子どもの平均数を示す人口統計の指標を(①)という。1989(平成元)年には、1966(昭和41)年のひのえうまの年の値を下回り、(②)となったため、少子化が社会問題として認識されるようになった。
- 2) 児童福祉法において、「出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦」は(③)と定義され、望まない妊娠や妊婦健診の未受診、経済的困窮などが含まれる。
- 3) 子が出生したときは、出生日から(④)日以内に、子の出生地、父あるいは母の本籍地、届出人の所在地のいずれかの市区町村に届け出る必要がある。
- 4) 妊娠(⑤)週以降に胎児が亡くなった場合は、死産の届出が必要である。

問2. 女性のライフサイクル各期における看護に関する以下の文章について、括弧内に入る適切な語句・数字を記入しなさい。

- 1) 女性の第二性徴に最も関与するホルモンは、卵巣から分泌される(①)で、乳房や陰毛の発育、初経発来といった身体的変化が生じる。
- 2) 月経前3~10日頃から乳房痛、イライラ、抑うつなど心身に強い不快症状が起こる状態を(②)という。また、月経期間中に下腹部痛や腰痛などの症状が現れ、日常生活に支障をきたし治療の対象となる状態を(③)という。
- 3) 受胎調節法のうち、子宮内腔にプラスチック製の器具を挿入して受精卵の着床を防ぐ、女性が自分の意思で実行できる避妊方法は、(④)である。
- 4) 女性における更年期は、卵巣機能が減退し消失するまでの時期をさし、一般的に閉経前後(⑤)年をいう。

問3. 妊娠・分娩・産褥新生児期に関する以下の文章について、括弧内に入る適切な語句・数字を記入しなさい。

- 1) 妊娠とは受精卵の(①)に始まり、胎芽または胎児および付属物の排出をもって終了するまでの状態をいう。受精卵は(②)で精子と卵子が合体・融合して生じ、その後、卵管を通過して子宮内膜へと移動する。
- 2) 正常に経過している妊娠30週の妊婦が、次に妊婦健康診査を受診する時期として推奨されるのは、(③)週後である。
- 3) 妊娠32週以降の胎児心拍数陣痛図で、胎児の健康状態が良好であると評価するためには、胎児心拍数基線が(④ ~ ⑤)bpmであること、基線細変動が6~25bpmであること、(⑥)があること、一過性徐脈がないことを確認する。
- 4) 卵膜が破綻し羊水の漏出を来した状態を(⑦)といい、感染予防と異常の早期発見が重要となる。通常、分娩第(⑧)期に近いころに起こる。
- 5) 産褥期に一過性におこる情緒不安定な状態を(⑨)といい、軽度の抑うつや涙もろさなどの精神症状と、頭痛や疲労感などの身体的不調がある。
- 6) 新生児は出血性疾患を発症しやすいといわれており、(⑩)の予防投与を行うことが推奨されている。

問4. 妊娠20週のAさんは出生前診断を受けた後、医師より「胎児は重度の先天障害を持つ可能性がありますので、ご家族と相談してください」と伝えられた。Aさんは病院から電話で夫に伝えたところ、夫からは「障害があるのは赤ちゃんにとって不幸だから、産むのは諦めた方がいいね」と言った。Aさんはこの経緯を看護師に伝え、「私はこの先どうしたらよいでしょうか」と相談した。

看護師として適切な対応と倫理的解決に向けた方法について、記述しなさい。

問5. 次の文を読み、以下の1)～3)に答えなさい。

Aさん(28歳、初産婦)は、9月12日(妊娠39週4日)午前6時、経膈分娩にて3,100gの女児(Aちゃん)を出産した。分娩時出血量450mLであった。母児ともに健康状態は良好であった。

本日9月13日(産褥1日目)午前9時の観察では、Aさんは、体温36.2℃、脈拍68回/分、血圧118/64mmHg、子宮底は臍下1横指で硬質、悪露は赤色で量は中程度～少量であった。分娩後の排尿は4回、排便はまだみとめない。食事はこれまで全量摂取し、この他に水分を1L程度摂取している。乳房の形態はⅡa型、乳輪・乳頭の大きさは普通で柔らかく、乳房緊満はない。乳管開通は左右とも1～2本、黄色乳汁がじわりと分泌している。1～3時間ごとに横抱きで授乳しており、乳頭トラブルはなく、母乳のみで経過している。

Aちゃん(生後1日目)の観察では、体重は3,000g、体温37.0℃、心拍130回/分、呼吸52回/分であった。皮膚の黄染は見られていない。排尿・排便ともに出生後から3回みとめられる。

1) Aさんの分娩から産褥1日目の状態について、アセスメントを記述しなさい。

2) Aちゃんの出生から生後1日目の状態について、アセスメントを記述しなさい。

なお、体重は減少率を求め、小数点以下第2位は四捨五入すること。

問6. 一般社団法人「いのち支える自殺対策推進センター」によると、2024(令和6)年の妊産婦(妊娠中および産後1年以内)の自殺者数は44人で、このうち妊娠中は12人、産後2か月以内は7人、産後3か月から1年以内は25人であった。さらに、2022(令和4)から2024(令和6)年までの3年間の自殺者数は、162人に上ることが明らかとなった。

この課題の背景にある要因と解決にむけた具体的方策について、記述しなさい。

受験番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

令和8年度入学者選抜
日本赤十字北海道看護大学大学院看護学研究科
看護学専攻(修士課程)一般入学試験(Ⅱ期)問題

専門科目(90分)
(クリティカルケア看護学)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題用紙は表紙を含め2枚(1ページ)です。解答用紙は2枚(2ページ)です。
3. 下書き用紙は1枚あります。必要に応じて利用してください。
4. 試験監督者の指示に従って、問題用紙には受験番号を、解答用紙には受験番号および志望領域を記入してください。
5. 解答には、黒色鉛筆(シャープペンシルも可)を使用し、解答はすべて解答用紙に横書きで記入してください。
6. 問題用紙や解答用紙に落丁・乱丁および汚れ等がある場合は、試験監督者に申し出てください。
7. 問題用紙、解答用紙とも試験終了後、回収しますので持ち帰ってはいけません。
8. 下書き用紙は、持ち帰ってください。
9. 試験中に質問等がある場合は、手を挙げ試験監督者に知らせてください。

臨床看護学分野

クリティカル看護学領域

問.

現在、所属している救急医療の現場が抱える現状と課題をあげ、その課題を解決するために、地域特性や救急救命士の専門性の維持向上をふまえた上で、どのような対策が考えられるか具体的に論じなさい。